

社會民主主義的理論ヲ言フテキルノデハナイ。)
ダカラ労働組合運動ハプロレタリア運動ノ一部分ノ最重要ナ一部分
デハアルガチデアアル。トコロチ黨ハ、コノ労働組合、モツブル、青年
同盟、等々ノ大衆團體ノ全体ヲ指導スルノデアアル。而シテコノ指導ハ
黨ガ黨ト大衆團體ニ命令スルコトニヨツテ行ハレルノデハナイ。同志
スターリンガ明白ニ言イテキル様ニ、大衆團體内ニ居ル黨員ガ「感化
力ニヨリ、又、説得ヲ以テ」是等大衆團體ガ「自發的ニ黨ノ政治上ノ
指導ニ從フ様ニ」活動シテ行ハレルノデアアル。

我黨ハ前ニ引用シテ黨ノ組織チーゼニ示サレテアル様ニ、黨ノ獨自
性、獨立的活動ノ重要性ヲ常ニ主張シテ來タノデアアル。而シテソレハ
他ノ黨外大衆組織トノ正シイ相互關係ノ理解ニ於テ黨員大衆ノ間ニ浸
透シテ居ナカツタノデアアル。黨ノ労働組合トノ混同ハコウシタ所カラ
發生シタノデアアル。プロフィンタルン第五回大會ヲ採用サレタ日本
問題ニ關スル決議中ニ指摘シテアル「黨ト組合トノ混同」ノ誤謬ハ、終

局的ニハ我々黨員ガ黨ノ獨自性ヲ充分ニ理解シテキナカツタコト、黨
外大衆團體ニ對スル黨ノ指導ニ關スル誤レル見解ニ歸着スルノデアアル
カクテ黨ソノモノニ關スル明白ナ理解ガ如何ニ重要デアルカハ判明ス
ルノデアアル。我々ガ引用シタ同志スターリンノ言ハ此ノ點カラ觀テ決
シテ長イモノデハナイ。同志スターリンノ言ハ日本ニ於ケル階級闘争
ノ現實ト結び付ケテ幾度モ我々ニヨツテ考ヘラレネバナラヌ。

四 工場細胞ノ任務

據テ、ソレデハ問題ヲ具體的ニシテ、我々ガ現在當面シテキル日本
ノ階級闘争ニ於テ、全テ之等ノ問題ハ如何ニ解決サルベキカハ我々ノ
前ニ立テラレテ來ル。

我々ハ、黨ノ基礎組織デアアル工場細胞ノ役割ニ就テ語ラナケレバナ
ラヌ。前掲日本共産黨組織チーゼ(一九二八年發表)ハコノ問題ニ對
シテ次ノ如ク言イテキル。

「工場細胞ハ黨ノ組織ノ基礎デアリ、黨ト大衆ノ結合ノ橋梁デアアル。